

## 群馬保健学研究投稿規定

改定 1999年7月26日 2007年5月24日  
2011年3月22日 2012年1月24日  
2012年2月28日 2016年7月26日  
2017年7月28日 2018年7月24日  
2019年7月23日 2021年7月27日  
2022年7月26日

1. 群馬大学大学院保健学研究科は、保健学研究科の研究及び活動の成果を発表するために『群馬保健学研究』を刊行する。
2. 投稿資格
  - 1) 筆頭著者は群馬大学大学院保健学研究科教員，群馬大学大学院保健学研究科に在籍する学生又は同研究科の修了生，医学系研究科保健学専攻修了生及び医学部保健学科卒業生とする。ただし責任著者は保健学研究科の教員とする。なお，筆頭著者以外は，この限りではない。
  - 2) その他編集委員会が執筆を依頼したもの。
3. 投 稿
  - 1) 原稿の締め切り日は，原則として毎年9月末日とする。
4. 査読と採否の決定
  - 1) 査読は，学外の有識者を含む査読者に依頼する。
  - 2) 査読結果を基に，編集委員会で，採用，修正後採用，修正後再査読，不採用の判定を下し，速やかに著者に結果を知らせる。
5. 掲載される原稿は次のものとする。

ただし，他の刊行物に掲載されたものや掲載予定のものは除く。

  - 1) 欧文および和文の総説論文：ある特定の分野についてのこれまでの研究をまとめ，その分野全体を十分把握して概説・考察したもの
  - 2) 欧文および和文の原著論文：新しい知見や価値ある成果を含む独創的な研究で，適切な方法論に基づき論理的に示されたもの
  - 3) 欧文および和文の報告：研究的意義があり，調査や文献検討などによる成果が論理的に示されたもの
  - 4) 欧文および和文の症例・事例報告：単一または複数の事例の経過について，実践内容と今後の発展に向けた考察を含めて紹介したもの
  - 5) 欧文および和文の活動記録：研究や実践活動の参考となり，公表の意義があるもの
6. 原稿のサイズはおおむね次の範囲とする。
  - 1) 総説論文・原著論文・報告は，図表を含めて刷り上り8ページ以内
  - 2) 症例又は事例の報告は，図表を含めて刷り上り4ページ以内
  - 3) 活動記録は，刷り上り2ページ以内
7. 原稿の書式は次の通りとする。
  - 1) 原著論文及び報告の場合は，題名，著者，所属，要旨，キーワード（5個以内），はじめに，対象（材料）と方法（実験方法，調査方法），結果，考察，謝辞，利益相反，文献の順とする。

症例又は事例の報告は、題名、著者、所属、要旨、キーワード（5個以内）、はじめに、症例又は事例、考察、謝辞、利益相反、文献の順とする。活動記録は、題名、著者、所属、要旨、キーワード（5個以内）、はじめに、活動内容、成果と今後の課題、利益相反、文献の順とする。

- 2) 和文の場合（活動記録を含む）、題名、著者、所属、キーワードの英訳、およびネイティブチェックを受けた200語程度の英文要旨を付ける。
- 3) 和文原稿はワードプロセッサを使用し、24字×23行で作成する（4枚でほぼ刷り上り1ページとなる）。
- 4) 図表はそのまま製版できるよう、図表のみからなるファイルを作成する。図表が複数個ある場合は、1ページにつき1個の図表を割り当てる。
- 5) 数量の単位は原則としてSIに従い、記号で表す。
- 6) 年号は西暦を使用する。
- 7) 英数字は半角を使用する。

## 8. 文献は、本文に引用したもののみとし、参考文献は記載しない。

本文に引用した順に番号を付け、本文中に<sup>2-4)</sup>や<sup>2)6)</sup>の様に文献番号を示す。

### 1) 雑誌の場合

- ① 著者. 題名. 雑誌名 発行年（西暦）；巻：引用開始ページ-引用終了ページ.
- ② 雑誌名の省略は、欧文誌の場合はIndex Medicusに、和文誌の場合は医学中央雑誌に従う。
- ③ 例1：昭和理作子，平成一郎，荒牧保子．保健学研究について．群馬保健学研究  
2000；20：100-109.  
例2：Showa R, Heisei I, Aramaki Y. Research in health sciences. Ann Gunma  
Health science 2000；20：100-109.  
例3：Showa R, Heisei I, Aramaki Y, Haruna T. et al. Research in health sciences.  
Ann Gunma Health science 2000；20：100-109.

### 2) 著書の場合

- ① 著者. 引用部分の題名. 編者名（, 編）. 書名. 発行地：出版社，発行年（西暦）：引用開始ページ-引用終了ページ.
- ② 例1：昭和理作子．明日の保健学科．平成一郎，荒牧保子，編．保健医療教育第2版．  
群馬：群馬出版，2000：100-125.  
例2：Showa R. School of Health Sciences in the future：Heisei I, Aramaki Y ed.  
Education in health and medical sciences 2nd ed. Gunma：Gunma Publishing,  
2000：100-125.

### 3) Webの場合

- ① 著者. 公表西暦年または最新の更新西暦年. 当該情報のタイトル. URL（検索西暦年月日）
- ② 例1：厚生労働省．2018．平成29年人口動態統計の概況．<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei17/index.html>（2019年3月1日検索）

## 9. 原稿の提出方法

- 1) 原稿の提出は、教職員用Moodleを経由して行う。
- 2) 原稿の提出に際しては、「オンライン投稿マニュアル（投稿者用）」に従って行う。「オンライン投稿マニュアル（投稿者用）」は、教職員Moodleのマイコース「群馬保健学研究（オンライン投稿）」のリンク先にてダウンロード可能である。
- 3) 提出ファイルとして、①投稿票ファイル、②題名・著者・所属ファイル、③題名ファイル、④要旨（和文・英文）・キーワードファイル、⑤本文ファイル、⑥図表ファイル、⑦投稿論

文チェックリストファイルを準備する。

- 4) 原稿を提出する際は、PDF形式のファイルのみを受け付ける。
- 5) それぞれのファイル名は、筆頭著者のイニシャルを入れて、順に1. [Initial]\_Submission, 2. [Initial]\_Authors, 3. [Initial]\_Title, 4. [Initial]\_Abstract, 5. [Initial]\_Text, 6. [Initial]\_FiguresandTables, 7. [Initial]\_Checkとする。
- 6) ファイルサイズは合計1GB以下とする。

#### 10. 校 正

- 1) 校正は再校まで著者が行う。校正の際の加筆・変更は認めない。
- 2) 校正した原稿の提出は、教職員用Moodleを経由して行う。
- 3) 校正した箇所は⑧修正対応一覧表ファイルにまとめ、ファイル名を0. [Initial]\_Responseとする。
- 4) 校正により共著者を変更する必要がある場合は、②題名・著者・所属ファイルを変更するだけでなく、⑧修正対応一覧表の最後にその旨を明記すること。

#### 11. 著 作 権

掲載された論文の著作権は「群馬保健学研究編集委員会」に帰属する。